学部の理念・目的

キャリアデザイン学部は、「キャリア（生き方）」を個人が主体的に考え、設計する必要性の高まりを背景として、「自由と進歩」という本学の建学の精神を踏まえ、生涯学習社会におけるキャリアデザインの歴史と現状、課題、キャリアデザインの理論と方法、政策等に関する教育・研究を行うことを目的として、日本で最初の学部として2003年4月に設置された。

キャリアデザイン学部は、個人の学びや発達に視点を置く「発達・教育キャリア」、産業社会のなかでの職業キャリアの展開に視点を置く「ビジネスキャリア」、家族や地域を含めた人生のあらゆる場における人と社会のあり方に視点を置く「ライフキャリア」の３つの領域を教育・研究の枠組みとして設定している。

研究の面では、既存の学問領域における研究成果を基礎に置きつつ、これまでとは異なる社会のしくみの中での「キャリア」をめぐる新たな課題に応えていく。

教育の面では、「自己のキャリアを自らデザインすることのできる自律的／自立的人材」を養成すると同時に、上記の３つの領域において「他者のキャリアのデザインや再デザインに関与しつつ、その支援を幅広く行うことのできる専門的人材」を養成する。

学部の教育目標

キャリアデザイン学部は、「自己のキャリアを自らデザインすることのできる自律的／自立的人材」であると同時に「他者のキャリアのデザインや再デザインに関与しつつ、その支援を幅広く行うことのできる専門的人材」を養成する。

少人数演習型授業と講義科目、体験型授業の３つの学習形態を通じ、かつ「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の３領域における専門的な学びを通じて、上記の人材の育成を体系的に行う。

学部の学位授与方針

所定の単位の修得により、以下に示す水準に達した学生に対して「学士（キャリアデザイン）」を授与する。

1. キャリアデザインが求められる社会的背景、およびキャリアデザインに関する基本的な知識やアプローチの方法について幅広く理解している。
2. 特定のアプローチについては、専門的知識を有し、それを活用できる。
3. キャリアデザインに関わる社会現象や政策・施策等について、自ら研究を深め、一定の成果を残すことができる。

科目名	科目No.	学習目標	学習の成果 キャリアデザインが求められる社会的背景や歴史、現状などについて、専門的な深い知識を習得する。	キャリアデザインに関わる社会現象や政策・施策などについて、客観的に観察できる態度と能力を獲得する。	自己のキャリアデザインや他者のキャリアデザイン支援のための、専門的で幅広い知識を獲得し、自律的／自立的に行動する力を得る。	自主的に関心を持つテーマを見つけ出し、それを独自に考察し研究する能力を獲得する。	学外の他者との協同的／協働的活動を通して、十分な自己表現力を獲得する。	個人の学びや発達に関して、歴史や現状、課題について理解するために必要な知識やスキルを習得する。（発達・教育）	産業社会のなかでの職業キャリアの展開に関して、歴史や現状、課題について理解するために必要な知識やスキルを習得する。（ビジネス）	個人と社会のあり方に関して、歴史や現状、課題について理解するために必要な知識やスキルを習得する。（ライフ）
アジア社会論Ⅰ	ARS200MA	東アジア諸国を中心に、アジアの歴史、地理、文明、政治、経済、及び国際関係を考える。	○							◎
アジア社会論Ⅱ	ARS200MA	近・現代中国の歴史、地理、文明、及び政治、経済、国際関係を考える。	○							◎
国際関係論Ⅰ	ARS200MA	国際問題の見方、国際社会の仕組み、国際社会に生きる人間のキャリアを考える。	○							◎
国際関係論Ⅱ	ARS200MA	中国の国際関係、及び日中関係について考える。	○							◎
国際地域研究Ⅰ	ARS200MA	アイルランド島とグレートブリテン島の諸地域について、それぞれの関係性に注目しながら、歴史・社会構造をふまえつつ理解することを目指す。	○							◎
国際地域研究Ⅱ	ARS200MA	異なる文化、ナショナル・アイデンティティ、歴史観をもつ住民集団の「共生」のあり方について主として北アイルランドを事例に考える。	○							◎
キャリアデザイン学入門	BSP100MA	キャリアデザイン学を構成する学問領域の基本的な概念や考え方、歴史や理論の展開、政策や支援の方法などについて理解する。	○	○	◎	◎				
ファシリテーション論	BSP100MA	グループや組織を活性化し、集団による学習や問題解決などを促すためのファシリテーションの手法を、実習を交えながら身につける。					◎			
若者の自立支援	BSP100MA	社会から排除されがちな若者の実態と、彼らを支援し、自立を促すための社会のしくみ作りについて考える。		○	◎					
キャリアサポート事前指導	BSP200MA	コミュニケーションスキルの基本を学びながら他者をサポートする「キャリアサポート実習」の意義、方法、実習計画の立て方等を理解し深めていく。			○	○	◎			
キャリアサポート実習	BSP200MA	他者をサポートする「キャリアサポート実習」を通じて、実習から得た学びを言語化し、相対化する力を養う。			○	○	◎			
多文化教育Ⅰ	BSP200MA	日本社会における多文化共生の現状を分析し課題を探るとともに、人間図書館（ HL）の企画を考えることができる。			○	○	◎			
多文化教育Ⅱ	BSP200MA	人間図書館（HL）の計画を進めイベントを開催するとともに、その成果と課題を検討をすることができる。			○	○	◎			
キャリア体験事前指導	BSP200MA	就業体験（インターンシップ）あるいは企業の課題を解決するPBLに取り組むマインドセット，事前知識を獲得する。			○	○	◎			
キャリア体験学習	BSP200MA	就業体験（インターンシップ）や企業との協働による商品開発などを通じて、卒業後のキャリアや自分だけの学びを考える力を養う。			○	○	◎			
キャリア体験事前指導（国際）	BSP200MA	夏休みに実施される台湾でのキャリア体験学習に必要な知識とスキルを磨くと共に、現地での実習や交流におけるそれぞれの独自の研究目標や方法を明確にする。			○	○	◎			
キャリア体験学習（国際）	BSP200MA	キャリア体験学習を踏まえて、キャリアデザインに関する国際的な視野での知識やスキルを身につける。			○	○	◎			
メディアリテラシー実習Ⅰ	BSP200MA	映像の歴史と映像分析の方法を学びながらメディア・リテラシーの基礎的な概念や思想を学習するとともに簡単な映像を製作する力を身につける。			○	○	◎			
メディアリテラシー実習Ⅱ	BSP200MA	メディアリテラシーの基礎的な理論をもとに、ドキュメンタリー映像を製作し、実践的なメディア・リテラシー教育の方法を身につける。			○	○	◎			
地域学習支援Ⅰ	BSP200MA	NPO、地域企業、学校、自治体などのパートナーシップによる地域学習の推進の実態と課題を学び、現場で求められるコーディイネーターの役割、機能について理解を深める。			○	○	◎			
地域学習支援Ⅱ	BSP200MA	青少年の自立支援、地域文化振興、多文化理解、地域住民の学習と情報発信などの諸課題に即して実習をおこない、レポート執筆や成果報告を通して地域学習支援士になるための今後の学習課題を明確にする。			○	○	◎			
キャリア研究調査法（質的調査）	BSP200MA	人のキャリアに関わるさまざまな課題について研究するための基礎的手法として、質的調査（観察やインタビュー）の実践的スキルを身につける。			○	◎	○			
キャリア研究調査法（量的調査）	BSP200MA	人のキャリアに関わるさまざまな課題について研究するための基礎的手法として、量的調査（アンケートやデータ分析）の実践的スキルを習得する。			○	◎	○			
ビジネスキャリア入門Ａ	BSP100MA	ビジネスや市場を分析する際に必要となるミクロ経済学の理論を理解する。消費者、生産者（企業）、個別商品の市場といった経済活動に焦点を当て需要・供給分析を理解する。さらに、組織を分析する理論であるインセンティブ設計やゲーム理論の初歩も理解する。	○	◎	○				◎	
ビジネスキャリア入門Ｂ	BSP100MA	景気を分析し、経済政策の効果を検証する際に必要となるマクロ経済学の理論を理解する。社会保障制度や財政・金融制度、および産業政策や労働政策も具体的事例をふまえて理解する。	○	◎	○				◎	
ビジネスキャリア入門Ｃ	BSP100MA	ビジネス分野の科目群を履修する前提として、企業経営の基礎を理解する。具体的に、株式会社および証券市場の役割を確認した上で、組織の特性や組織に働く個人の心理について学ぶ。	○	◎	○				◎	
ビジネスキャリア入門Ｄ	BSP100MA	ビジネスキャリア入門Cに続いて、経営学のうち、経営戦略論、流通・マーケティングの基礎知識を得る。	○	◎	○				◎	
ライフキャリア入門Ａ	BSP100MA	キャリア形成に重要な役割を果たす場として、国内外の様々なコミュニティについて取り上げ、労働とコミュニティの連接点を考察しながら、ライフキャリアに関する入門的理解をすすめる。	○	◎	○					◎
ライフキャリア入門Ｂ	BSP100MA	現代社会における家族のあり方やそれをとりまく社会環境に注目しながら、人間関係や社会への理解を実証的に深め、ライフキャリアの入門的理解を進める。	○	◎	○					◎
ライフキャリア入門Ｃ	BSP100MA	自己のアイデンティティや価値観の形成に大きく関わる「文化」に焦点を当て、創造的な文化が社会のなかでどのような役割を果たすのかを理解する。	◎	○	○					◎
ライフキャリア入門Ｄ	BSP100MA	現代のような成熟社会になると、これまでのように行政依存型の個人から市民として自立的な個人が求められます。本授業は文化の視点から「まちづくり」を通じてそのあり方を考えます。	◎	○				○		◎
発達・教育キャリア入門Ａ	BSP100MA	不登校、いじめ、発達障害、児童虐待など学校と家庭の教育をめぐる諸問題について基礎的な知識を理解し、固定概念にとらわれず多角的な視点から物事を考えることができるようになる。		○				◎		
発達・教育キャリア入門Ｂ	BSP100MA	発達および教育が関連する各トピックについての基礎的な知識を身につける。キャリアデザインに関わる社会現象についてデータに基づいて説明できる。	○	○				◎		
発達・教育キャリア入門Ｃ（生涯学習入門Ⅰ）	BSP100MA	キャリアデザインおよびキャリアデザイン学の基本について、生涯発達と生涯学習の視点から幅広く理解する。とくに、キャリアとキャリアデザインの概念に関する類型を知る。	◎	○	◎	○		◎		○
発達・教育キャリア入門Ｄ（生涯学習入門Ⅱ）	BSP100MA	キャリアデザインを実際に行っていく上で不可欠な自己意識やリテラシー、コンピテンシーなどの諸能力、それらを育てるツールやキャリア教育の背景、それらに関する法概念、政策、国際的協力等について、生涯学習の視点から理解する。	◎	○	◎	○		◎		○
キャリア研究調査法入門	BSP100MA	高校までに学習した基礎的数学や国語や社会の知識・技能を発展させて、社会調査の基本的な考え方と技能とをマスターする。		○		◎		○	○	○
労働法	CAR100MA	長時間労働や賃金格差、非正規就業など雇用をめぐる様々な問題を法制度の観点から考察し、社会で働くうえで必要な知識を習得する。		○	○				◎	
職業選択論Ⅰ	CAR100MA	学校を卒業し、就職活動を行い、働き始めるという「学校から職業への移行過程」の課題を、職業選択、職業的適性、就職・採用活動、初期キャリアといった側面から理解する。		◎	○				○	
ライフコース論	CAR100MA	人生の軌道＝ライフコースに学問的にアプローチし、人生の流れやパターンの時代的な変化や個々人における多様性について理解を深める。	◎	○					○	
生活設計論Ⅰ（社会保障）	CAR100MA	社会保障制度や地域コミュニティなど、生活設計に必要な知識を習得し、その活用方法を理解する。	○		◎					○
生活設計論Ⅱ（生活設計）	CAR100MA	能動的・積極的に生活設計ができるように、「仕事・お金・生活」の関係性を理解する。	○	○	◎					
キャリアモデル・ケーススタディ	CAR100MA	キャリアのモデルとなるような社会人の具体的経験の素材にしながらキャリア理論を学び、キャリアの領域で関心領域を発見できる能力を身に付ける。	○		◎	○				
就業機会とキャリア	CAR200MA	毎回、異なる業界や企業からゲストを招き、業界の動向や企業の現状、これからの働き方、求められる人材について幅広く理解する。		◎	○	○				
職業能力ベーシックスキルⅠ	CAR200MA	職業人・社会人のコミュニケーションやマナーを理解し、実践できるようになる。	○		◎	○				
職業能力ベーシックスキルⅡ	CAR200MA	「就職活動シミュレーション」等を通じて職業社会について理解し、実践的な職業能力を身につける。	○		◎	○	◎			
就業応用力養成Ⅰ	CAR300MA	アカデミックスキルの活用により社会（企業）における課題解決の手法を、またグループワークにより、組織で成果を出す力（チームワーク）を習得する。		◎			◎		○	
就業応用力養成Ⅱ	CAR300MA	アカデミックスキルの実践として具体的な提言を行うとともに、グループワークにより、単なるアイデアではなく、ビジネスモデルの提案ができるようになる。		◎			◎		○	
外書講読Ａ（発達・教育）	EDU200MA	英文のテキストの検討とグループワークを通じて、キャリアデザインにとって重要な教育・学習・人権・自尊感情等の基本的な事柄を踏まえ、とくに他者との相互理解協力を進めるためのconflict solutionのあり方について、世界の動向を捉えながら理解する。			○	○		◎		
外書講読Ｂ（発達・教育）	EDU200MA	キャリアデザインの国際的な視野を広げるために、開発教育development educationの視点から、英語の文献を検討しディスカッション等を行うことができる。			○	○		◎		
学校論Ⅰ（キャリア形成）	EDU200MA	学校とはどのような場所か、学校で私たちは何を学ぶのか、教師とはいかなる仕事かなど、キャリアを形成する場・仕事の場としての学校について理解を深める。	○		○			◎		
学校論Ⅱ（キャリア形成）	EDU200MA	学校に通うこと／通わないことがキャリア形成にどのような影響を及ぼすのか、専門的な知識の獲得、データの正しい読み取り、事例についての自分の意見を表現する力を獲得する。	○		○			◎		
学校論Ⅲ（キャリア教育）	EDU200MA	キャリア教育の概念と意義，政策的展開と実践的な取り組みの諸相について理解する。	○		○			◎		
学校論Ⅳ（キャリア教育）	EDU200MA	学校に主眼を置きながら、社会的な条件によってキャリア教育の課題が多様であることを理解する。		○	○			◎		
生涯学習論Ⅰ（現代社会と社会教育Ⅰ）	EDU200MA	生涯学習の基盤となる自己概念と社会参画との関係についての歴史や今日の情況について、資料に即しかつグループワークを取り入れて行い、自己の課題を探求することができるようになる。	○	○	◎			◎		
生涯学習論Ⅱ（現代社会と社会教育Ⅱ）	EDU200MA	生涯学習について、国際化やグローバリゼーションとの関係で検討し、資料やグループワークを通じて、学習課題を明確にする。	○	○	◎			◎		
メディア教育論Ⅰ	EDU200MA	多様なメディアの分析を通じて、メディア情報リテラシー教育における４つの能力、批判的思考能力、メディアの制作、コミュニケーション能力、コラボレーション能力を身につける				○	◎	○		
メディア教育論Ⅱ	EDU200MA	多様なメディアの分析を通じて、メディア情報リテラシー教育における４つの能力、批判的思考能力、メディアの制作、コミュニケーション能力、コラボレーション能力を身につける				○	◎	○		
教育マネジメントⅠ	EDU200MA	学校や自治体の教育マネジメント（経営や運営）を事例分析しながら考え理解する。		○		○		◎		
教育マネジメントⅡ	EDU200MA	教育業界を、教育産業、教育NPO、高等教育機関に分けて、その概要や動向を捉え、カリキュラムマネジメントの視点に立って具体的な事例を検討することができる。			○			◎		
教育政策	EDU200MA	国や自治体における教育政策の理念や内容、実施策について考え理解する。	○	◎						
現代教育思想	EDU200MA	教育や学校、学習に関する基本的な理念や思想について考え理解する。	○							
生涯学習論Ⅲ（成人教育論Ⅰ）	EDU200MA	現代社会におけるキャリアの変容と学びの多様性の理解を通じて、自らのキャリアに関わりのある事柄として生涯学習、成人教育を捉えることができる。		○	○			◎		
生涯学習論Ⅳ（成人教育論Ⅱ）	EDU200MA	生涯学習の基本的構成要素のひとつである成人教育について、いわゆる社会教育の視点からの貢献とその方法について解説し、ディスカッション等を行い、受講生一人ひとりの課題を明確にすることができる。			◎	○		◎		○
教育社会学Ⅰ	EDU200MA	心理学的思考・経営学的思考との違いを理解しながら、教育を対象に社会学をするという基本動作ができるようにする。	○		◎			○		
教育社会学Ⅱ	EDU200MA	教育社会学の基本的諸概念を駆使して、教育・政治・政策・経済・経営・地域といった社会的諸領域の複雑な関係を読み解くという動作ができるようにする。		○	◎	○		○		
教育経済学	EDU200MA	経済学的な観点からの教育の見方を身につけ、公正や効率といった概念を用いて学校教育や大学教育を理解する力をつける。		○				○		
演習（発達・教育）	EDU200MA	発達・教育をめぐる諸問題について深い関心をもち自ら調べ周囲と意見交流をし真理を探究するための基礎的な力を育む。また共同的な学習のために自己貢献する能力を獲得する。			○	◎	○			
卒業論文（発達・教育）	EDU400MA	発達・教育をめぐる諸問題について深い関心をもち専門的な知見を自ら調べ周囲と意見交流をし真理を探究し、それを論文として適切な手続きにのっとり、表現する力を獲得する。			○	◎	○			
教職入門	EDU100MA	教職を目指す学生が、現代社会における教育の課題と教職の意義と役割を理解し、教職に対する意欲を確実なものにする。						○		
学習の社会史Ａ	HIS200MA	西洋の教育史を軸に、「子ども」や「教育」、様々な「学習活動」のあり方について、歴史的に捉え直し理解する。	○					◎		
学習の社会史Ｂ	HIS200MA	日本の教育史を軸に、個人の学習意欲がいかに社会的な制度・事象と関わって社会的な関心事になっていったのかを理解する。	○					◎		
国際コミュニケーション語学（英語Ⅰ）	LAN100MA	選択英語科目初級オーラルを踏まえたレベルの英語日常会話を学び、中級程度の英語運用能力を獲得する。					○			
国際コミュニケーション語学（英語Ⅱ）	LAN100MA	選択英語科目初級オーラルを踏まえたレベルの英語日常会話を学び、中級程度の英語運用能力を獲得する。					○			
国際コミュニケーション語学（英語Ⅲ）	LAN100MA	国際Ｃｏｍ.語学（英語Ⅰ・Ⅱ）を経た程度の英語運用能力を前提に、中級から上級に向けた英語会話能力を目指す。					○			
国際コミュニケーション語学（英語Ⅳ）	LAN100MA	国際Ｃｏｍ.語学（英語Ⅰ・Ⅱ）を経た程度の英語運用能力を前提に、中級から上級に向けた英語会話能力を目指す。					○			
国際コミュニケーション語学（英語Ⅴ）	LAN100MA	選択英語科目初級ライティングを踏まえたレベルの英語文章構成法を学び、中級程度の英語文章作成能力を獲得する。					○			
外書講読Ａ（ビジネス）	MAN200MA	ビジネスキャリア領域における基本的な英語文献のうち、主にマクロ分野に属すものを取り上げ、英文を正確かつ大量に読める能力を養う。		○		○			○	

学部の理念・目的

キャリアデザイン学部は、「キャリア（生き方）」を個人が主体的に考え、設計する必要性の高まりを背景として、「自由と進歩」という本学の建学の精神を踏まえ、生涯学習社会におけるキャリアデザインの歴史と現状、課題、キャリアデザインの理論と方法、政策等に関する教育・研究を行うことを目的として、日本で最初の学部として2003年4月に設置された。

キャリアデザイン学部は、個人の学びや発達に視点を置く「発達・教育キャリア」、産業社会のなかでの職業キャリアの展開に視点を置く「ビジネスキャリア」、家族や地域を含めた人生のあらゆる場における人と社会のあり方に視点を置く「ライフキャリア」の３つの領域を教育・研究の枠組みとして設定している。

研究の面では、既存の学問領域における研究成果を基礎に置きつつ、これまでとは異なる社会のしくみの中での「キャリア」をめぐる新たな課題に応えていく。

教育の面では、「自己のキャリアを自らデザインすることのできる自律的／自立的人材」を養成すると同時に、上記の３つの領域において「他者のキャリアのデザインや再デザインに関与しつつ、その支援を幅広く行うことのできる専門的人材」を養成する。

学部の教育目標

キャリアデザイン学部は、「自己のキャリアを自らデザインすることのできる自律的／自立的人材」であると同時に「他者のキャリアのデザインや再デザインに関与しつつ、その支援を幅広く行うことのできる専門的人材」を養成する。

少人数演習型授業と講義科目、体験型授業の３つの学習形態を通じ、かつ「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」の３領域における専門的な学びを通じて、上記の人材の育成を体系的に行う。

学部の学位授与方針

所定の単位の修得により、以下に示す水準に達した学生に対して「学士（キャリアデザイン）」を授与する。

1. キャリアデザインが求められる社会的背景、およびキャリアデザインに関する基本的な知識やアプローチの方法について幅広く理解している。
2. 特定のアプローチについては、専門的知識を有し、それを活用できる。
3. キャリアデザインに関わる社会現象や政策・施策等について、自ら研究を深め、一定の成果を残すことができる。

科目名	科目No.	学習目標	学習の成果							
			キャリアデザインが求められる社会的背景や歴史、現状などについて、専門的な深い知識を習得する。	キャリアデザインに関わる社会現象や政策・施策などについて、客観的に観察できる態度と能力を獲得する。	自己のキャリアデザインや他者のキャリアデザイン支援のための、専門的で幅広い知識を獲得し、自律的／自立的に行動する力を得る。	自主的に関心を持つテーマを見つけ出し、それを独自に考察し研究する能力を獲得する。	学外の他者との協同的／協働的活動を通して、十分な自己表現力を獲得する。	個人の学びや発達に関して、歴史や現状、課題について理解するために必要な知識やスキルを習得する。（発達・教育）	産業社会のなかでの職業キャリアの展開に関して、歴史や現状、課題について理解するために必要な知識やスキルを習得する。（ビジネス）	個人と社会のあり方に関して、歴史や現状、課題について理解するために必要な知識やスキルを習得する。（ライフ）
外書講読Ｂ（ビジネス）	MAN200MA	ビジネスキャリア領域における基本的な英語文献のうち、主にミクロ分野に属するものを取り上げ、英文を正確かつ大量に読める能力を養う。		○		○				○
職業選択論Ⅱ	MAN200MA	「学校から職業への移行過程」の変化の諸相を雇用形態の多様化、法制度の変遷と実態、働き方をめぐる諸課題などから理解し、今日の若者が置かれている状況を構造的に理解する。	○	○					○	
人材育成論Ⅰ	MAN200MA	主として組織における人材育成の理念と方法について、歴史と国際比較も視野にいれながら、理論的かつ実証的に理解する。	◎	◎					○	
人材育成論Ⅱ	MAN200MA	学校から就職までの移行期、就職後のキャリアを中心に、組織における人材育成の現状と課題について、性、年齢、職種、企業規模、国際比較などの違いを重視する視点から理論的かつ実証的に学ぶ。	◎	◎					○	
産業・組織心理学Ⅰ	MAN200MA	産業・組織心理学の主要概念を理解することを通じて、自らのキャリアについて展望し、職場のマネジメントの問題点とその改善策を考えられるようになる。□	○		○				○	
産業・組織心理学Ⅱ	MAN200MA	企業組織の様々な取り組みが、個人のキャリアに対して与える影響を理解し、キャリア形成を促す人材マネジメントあり方を検討できるようになる。	○		○				○	
キャリア開発論	MAN200MA	キャリア開発をめぐる社会状況や働く組織の変化を理解し、企業の行う人材育成と対比しながら、個人の視点からみたキャリア開発のあり方について理解を深める。	○	○					◎	
リーダーシップ論	MAN200MA	リーダーシップやグループ・ダイナミクスの知識を実践する方法について考えることができるようになる	○		○				○	
経営統計論A（心理データ）	MAN200MA	キャリア研究におけるデータ分析に必要となる各手法について学び、多様な心理データに対して統計手法を用いた分析・結果の解釈を行えるようにする。			○	◎			○	
企業会計論	MAN200MA	企業会計は、財務会計、管理会計、監査および税務会計等の領域があるが、これらの基礎知識を広く身につける。	○	◎					◎	
経営統計論B（企業データ）	MAN200MA	キャリア研究調査法（量的研究）を踏まえ、統計分析の知識をより深める。とくに、売上、利益等の企業財務データを素材とし、コンピュータを用いた大量データ分析の手法を身につける。		◎		○			○	
経営組織論Ⅰ	MAN200MA	組織理論の基礎・応用、および実践について、体系的に理解することを目標とする。将来企業組織などの一員として、働く人々の生産性を高めるために必要な知識を身に付ける。		○		○			◎	
経営組織論Ⅱ	MAN200MA	ヒトを動かし、組織を動かし、成果を出していくためにはどうすれば良いか。機能不全に陥った組織をどうすれば良いかについて、メゾ・マクロレベルで組織のメカニズムの視点から考えることができる。		○		○			◎	
戦略経営論Ⅰ	MAN200MA	個人のキャリア形成の場である組織が、組織間競争の中でどのように意思決定を行い、行動しているかを、理論と事例を用いて戦略形成の観点から考えることができる。		○		○			◎	
戦略経営論Ⅱ	MAN200MA	個人のキャリア形成の場である組織が、経営戦略の形成と実行において、どのように行動しているか、また国際社会の中でどのように行動すべきかを、組織行動の観点から考えることができる。		○		○			◎	
経営分析論Ⅰ	MAN200MA	簡単な財務情報と定性情報を用いて、企業分析の基礎を身につける。日本の主要業種における代表的企業を事例として分析を行い、企業分析の基礎を身につけると同時に、主要業種の知識を身につける。	○	◎					◎	
経営分析論Ⅱ	MAN200MA	企業情報は、財務情報、定量情報および定性情報など、さまざまある。この講義では、それらを総合的に活用し、企業の業績、収益性、リスク等を系統的に把握する方法を学ぶ。	○	◎					◎	
アントレプレナーシップ論Ⅰ	MAN200MA	アントレプレナーに求められる資質を論理的に理解し、事業創出・ベンチャー経営を体系的に把握できる。以て求められるアントレプレナーシップとは何かを体感し、自分の価値観を形成の上、キャリアデザインに生かすことができる。	◎	○					○	
アントレプレナーシップ論Ⅱ	MAN200MA	アントレプレナーとして求められる資質を体得し、新規事業・ベンチャー経営のケースを体系的に把握するとともに、行動的スキルや・認知的スキルを高め、事業計画の課題発見や解決のための方法論を習得する。	○	○					◎	
職業キャリア論	MAN200MA	職業に関する基礎知識を習得し、職業と社会・労働市場・企業・個人との関係を理解する		○					◎	
労働経済学	ECO200MA	経済学の理論を学びながら、労働市場・企業組織のメカニズムを理解し、ビジネスキャリアの選択行動や企業側のキャリア開発の原理を説明できるようになる。	○	◎					◎	
シティズンシップ論	MAN200MA	自立・自律した個人からなるコミュニティのあり方、市民によるコミュニティの運営の重要さとその方法についての基礎を具体的な事例とグローバルな視点を踏まえて理解する。	○	○						◎
生産システム論	MAN200MA	日本経済の置かれている現状，製造業のポジショニングとその役割を理解し，製造業が日本経済に与える影響と重要度を理解する。		○					◎	
国際経営論	MAN200MA	企業活動のグローバル化の基本的な歴史や現状、捉え方を理解するとともに、国際ビジネスの多様性を知ることで国際人材としての視野を広げる。	○	○					◎	
日本経済論	ECO200MA	現代の日本社会が直面する種々の問題を現代史の中に的確に位置付け、現代に特有な問題が何かを明確に説明し、諸問題解決に向けての自分の考えを論理的にまとめる能力を身につける。	○	○					◎	
産業論	ECO200MA	わが国の産業に大きな影響を与える要因、産業構造、「主要産業」の動向及び特徴・課題、わが国産業の企業の「強さと弱さ」、イノベーションの意味と意義について理解する。	○	○					◎	
広告ビジネス論	MAN200MA	「マーケティングコミュニケーション」の一手段としての「広告」に焦点を絞り、その理論や実務上の知識を学ぶ。		○					◎	
マーケティング論	MAN200MA	新たな商品の開発、顧客満足の向上といったマーケティングの理論を学び、理論を通して実際の企業の活動を理解する。		○					◎	
流通・マーケティング戦略論	MAN200MA	流通とマーケティングの基礎知識を得つつ，流通企業やメーカーのケースから、商品開発や店舗のイノベーションの企画提案の流れを理解する。		○					◎	
流通・サービスビジネス論	MAN200MA	流通ビジネス、サービスビジネスのしくみや特徴を学問的な枠組みのなかから理解する。		○					◎	
就業機会発見実務	MAN200MA	様々な就業機会ビジネス機会について業種分析等の手法を学び、さらにそのために自己理解を深め、そしてキャリアデザイン学部とは何かを考察し第三者に説明できるように言語化する。		◎			○		○	
演習（ビジネス）	MAN200MA	ビジネスキャリアをめぐる諸問題について深い関心をもち自ら調べ周囲と意見交流をし真理を探究するための基礎的な力を育む。また共同的な学習のために自己貢献する能力を獲得する。			○	◎				
卒業論文（ビジネス）	MAN400MA	ビジネスキャリアをめぐる諸問題について深い関心をもち専門的な知見を自ら調べ周囲と意見交流をし真理を探究し、それを論文として適切な手続きにのっとり、表現する力を獲得する。			○	◎				
キャリアデザイン学総合演習	OTH400MA	卒業後の人生に向けて、キャリアデザイン学部で学んできたことを振り返り、自己のキャリアデザインを構想・表現する力を身につける。	○	○	◎	○				
生涯発達心理学Ⅰ	PSY200MA	誕生から青年までの発達についての知識を習得する。			◎			◎		
生涯発達心理学Ⅱ	PSY200MA	成人から老年期までの発達についての知識を習得する。			◎			◎		
臨床教育相談論Ⅰ	PSY200MA	教育相談を行っていく上で必要な心理学的知識を習得する。心理学の知識や見方を用いて教育現場の問題を自分なりに考えることができるようになる。		○	○			○		
臨床教育相談論Ⅱ	PSY200MA	理論を踏まえながら，教育相談の実際を理解する。教育相談の流れを，イメージできるようにする。相談の目標を意識できるようにする。		○	○			○		
キャリアカウンセリングⅠ	PSY200MA	キャリア理論を習得する。		○	○			◎	○	
キャリアカウンセリングⅡ	PSY200MA	カウンセリングスキルを習得する。		○	○			◎	○	
キャリアカウンセリングⅢ（ケーススタディ）	PSY200MA	多様なカウンセリング事例を理解し、適切なカウンセリングスキルを習得する。		○	○			◎	○	
教育相談	PSY200MA	教育相談を進めるにあたり、幼児、児童及び生徒の発達の状況に即しつつ、個々の心理的特質や教育的課題を適切に捉え、支援するために必要な基礎的知識を身につける。		○	○			◎		
教育心理学	PSY200MA	幼児、児童及び生徒の心身の発達の過程並びに特徴を理解する。幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身に付け、発達を踏まえた学習支援について基礎的な考え方を理解する。						○		
外書講読Ａ（ライフ）	SOC200MA	アイデンティティ、文化、コミュニティなど、ライフキャリア領域に関わるトピックについて、英文を読解したり自己の意見を表現するスキルを身につける。		○		○				○
外書講読Ｂ（ライフ）	SOC200MA	ライフキャリア領域に関連したルポルタージュや講演など、多様な英文の訳読を通して、英語による情報収集や調査の基礎的スキルを身につける。		○		○				○
コミュニティ社会論Ⅰ	SOC200MA	コミュニティにおけるさまざまな人間関係や社会現象の歴史的・地域的展開について理解を深め、他の時代・他の文化との比較を通じて、現代コミュニティと日常生活の現状・課題を探究することができる。	○	○						○
コミュニティ社会論Ⅱ	SOC200MA	人間の内面・行動と社会の存続・歴史とは、どのように相互に影響し合っているのだろうか。比較社会学の手法を通し、各テーマについて歴史比較や地域比較を行い、コミュニティと人間の日常生活に関する理解を深める。	○	○						○
家族論	SOC200MA	現代社会における家族のあり方やそれをとりまく社会環境に注目しながら、現代家族の諸問題を視野に入れた上での理解を実証的に深め、ライフキャリアの段階的理解を進める。	○	◎	○					○
若者文化論	SOC200MA	若者文化に関する哲学・心理学・社会学の認識枠組みや分析方法を横断的に理解し、具体的な事例の歴史的な経緯と検討を通じて若者文化の洞察力を養う。	○			○				
世代間交流論	SOC200MA	世代間交流について理論と事例を通して学び、多様な社会・地域課題の解決策としての世代間交流プログラムの計画と評価の方法について理解する。		○	○					○
身体表現論	SOC200MA	非言語コミュニケーションの実践を通して、自己発見、自己表現、他者理解、創造力等の能力を深めることができる。		○	○					
地域文化論	SOC200MA	地域社会がこれから課題となってくることは何かについて、様々なデータや研究をもとに考えることができる。		○						○
アイデンティティ論	SOC200MA	自己および他者のキャリアデザインに必要な視点や学術的概念・理論・既存研究等に関する知識を得る。	○		◎	◎				○
余暇集団論	SOC200MA	各地域にある固有の歴史的・文化的資源のポテンシャル・資源性について考え、地域交流ビジネスを核とした新たな地域再生と産業創造手法等について学ぶ。			○					○
ＮＰＯ論	SOC200MA	地域への貢献や地域課題の解決のために，市民・行政・企業等と協働しNPO活動として社会的事業を展開するにあたっての準備および運営方法について学ぶ。		○						○
公共サービス論	SOC200MA	公共サービスを提供する仕組みと評価および行政改革と公共サービスの変化について理解し、今後の公共サービスの在り方に関する見解を深める。		○	○					○
アート・マネジメント論	SOC200MA	アートプのもつ美的価値に加え、その社会的・経済的価値についても多角的に分析し、現代社会におけるアートの位置づけや意義について考える。		○	○	○				○
文化経営論	SOC200MA	行政や企業による文化支援や、文化芸術を活用した地域振興、文化産業の推進など、現代社会と文化の関わりについて実践的な観点から考える。		○	○	○				○
メディア文化論	SOC200MA	テレビ、ラジオ、雑誌などによるメディア文化の歴史と現状について具体的な事例を検討し、作り手と受け手の相互コミュニケーションを実践的な理解とプレゼン力やコミュニケーション力を身につける。	○		○					
文化マーケティング論	SOC200MA	消費者の価値観や消費動向が急速に変化する現代社会の文化と産業との重なりに着目し、複雑化するマーケティング領域での事業性検討、戦略策定、製品開発などの具体的アプローチを理解する。		○	○					
ブランド創造論	SOC200MA	企業活動におけるブランドに着目し、他の商品・サービスとの差別化戦略としてのマーケティング行動と、組織・商品や個人の存在表明としてセルフブランディングに関する知識を獲得する。			◎	○	○			
産業文化論	SOC200MA	産業社会における文化の重要性について、ライフスタイルや消費、欲望、豊かさ、多様性といった観点から考えることができる。		○		○				○
ミュージアム概論	SOC200MA	博物館学芸員を目指すための第一歩として、博物館とは何か、その社会的役割、制度、歴史、社会において果たすべき役割などを理解する。	○							◎
ミュージアム経営論	SOC200MA	受講生が,学芸員を始めとする博物館の職員に必要な博物館の経営に取り組む上での基本的な知識とセンスを身につける。		○						◎
多文化社会論Ⅰ	SOC200MA	多文化社会において重要な言葉や用語や概念の意味を学び、多文化コミュニケーションのできる能力とリテラシーを身につける。	○							◎
多文化社会論Ⅱ	SOC200MA	日本に暮らすエスニックマイノリティへの処遇政策の歴史と現状・課題を学び、多民族・多文化が共生する社会への道筋とマジョリティの課題を考えることができるようになる。	○							◎
多文化社会論Ⅲ	SOC200MA	無意識のうちに規定してしまっている自分のなかの「ふつう」を意識化し対話をはじめることをテーマとし、学んだことを自分なりに人に伝え、行動できるようになる。	○							◎
演習（ライフ）	SOC200MA	人とコミュニティの多面的な理解や諸課題について深い関心をもち、自ら調べ周囲と意見交流をし真理を探求するための基礎的な力を育くむ。また共同的な学習のために自己貢献する能力を獲得する。			○	◎	○			
卒業論文（ライフ）	SOC400MA	人とコミュニティの多面的な理解や諸課題について深い関心をもち、専門的な知見を自ら調べ周囲と意見交流をし真理を探究し、それを論文として適切な手続きにのっとり、表現する力を獲得する。			○	◎	○			